修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（嶋ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

修学旅行とモラル

対談
関修委運営委員長・栃木県中学校修旅委員長・宇都宮市陽西中学校長　伊藤守氏
（財）全国修学旅行研究協会・広報部長　早川泰雄

修学旅行の宿舎で、八十名の男女中学生が四十組となって布団に寝ていた――。この新聞記事に学校や家庭では大きな衝撃を受けた。これはきわめて特異な例であろうが、最近の混濁した社会風潮は、しだいに幼い子どもの心身を蝕ばもうとしており、とくに開放感を伴なう修学旅行にあっては、無軌道に走る場ともなりかねない。また、修学旅行引率教員の〝飲酒〟はよいか悪いか――。これも最近、新聞投書欄を賑わした問題である。修学旅行を明るく楽しく学校行事の一環として行うため、全修協広報部ではこれらの問題を中心に、関修委（海保四郎会長）伊藤守・運営委員長と対談、修学旅行のあり方とその対策をきいた。（写真は伊藤守氏）

少年蝕ばむ社会風潮

①修学旅行と性意識

―ある中学校の修学旅行の宿舎で、男女生徒八十名がそれぞれペアになって同じ布団に寝ていたとの新聞記事があり、学校や父兄が大さわぎをしたというのですが、現代社会の風潮が修学旅行におよんだ感じですが。

伊藤　社会現象の影響を受けたといっても、きわめて特異な例ですね。端的にいうなら生徒指導のいかんによってきまるのではないでしょうか。単にどこで何を見るとかいうことよりも生活指導にまで及ばねばなりません。また、職員組織の明確化も必要ですね。男子につける教員をどうするか、女子には女教員をつけるとか、こまかい配慮が重要です。

―極端に生徒を圧迫すると逆効果が生まれるでしょうし…。

伊藤　もちろん頭から押えては反動的になりますね。生徒の民主的な動きを頭に入れながら指導していかねばならない。

―一部の週刊誌やテレビなどで扱われる低俗な内容が感受性の強い生徒たちが影響していると思うのですが。

伊藤　子ども向けの週刊誌を見ましたら、あとの方のページにはセックス記事がのっている。子どもたちもある程度の知識と興味、さらに欲望も持っているようです。

だから、それをおさえるためには生活指導が必要となるのです。こういうことはいけない、悪いことだと判断させる。ひたかくしもいけませんね。

―人間である以上、興味を持つことは共通なのですが、学校では生活指導で補うより手段はないようですね、現実には……。

伊藤　男女生徒がひとつの布団に寝ていたなどとは、あまりにも極端な例ですが、もし事実であるとしたら驚くべきことです。栃木県ではそんなことは皆無だし、おそらく全国でも、その中学校以外は発生していないと思います。

―未然に防ぐための具体的方法としては……。

伊藤　そのような学校では、きっと指導に手ぬかりがあったのではないですか。責任の半分は監督の先生にあり、なんのために修学旅行の引率をしていくのか、まるで了承。

②十二月五日から二泊三日で行われる関修委の京都・奈良方面への現地研修会について説明があり多数の参加を要望した。

③三地区協で実施したアンケート集計を配布、この調査には栃木県から二十校を抽出したが、今後は全県下の中学校に対して回答を求めたいと意見が一致した。同調査では、とくに諸物価高騰の折から修学旅行費について詳細な記録をまとめたいとしている。

④栃木県のばあい、新幹線に乗車するための「つなぎ列車」が非常に窮屈になっており、すでに七月十六日付で全修協・山本種一理事長、関修委・海保四郎会長および関修委・伊藤守運営委員長の連名で国鉄に対し臨時列車の復活要望の陳情書が出されている。栃木県としては重大な課題であるため今後強く要求をつづける方針をかためた。

全県対象に調査を

栃木県修旅委で決定

【関東支局】栃木県中学校修学旅行委員会（伊藤守委員長）では九月三十日午前十時から陽西中学校に各地区から十四名の委員が集って委員会をひらいた。

①五十一年度新幹線利用の学校別日割表について検討を加えたあと、東京発午前十一時十二分発の「ひかり号」は、本年度の午前十時五十二分発の「こだま号」より約四十分早く京都に到着することで了承。

②十二月五日から二泊三日で行われる関修委の京都・奈良方面への現地研修会について説明があり多数の参加を要望した。

③三地区協で実施したアンケート集計を配布、この調査には栃木県から二十校を抽出したが、今後は全県下の中学校に対して回答を求めたいと意見が一致した。同調査では、とくに諸物価高騰の折から修学旅行費について詳細な記録をまとめたいとしている。

④栃木県のばあい、新幹線に乗車するための「つなぎ列車」が非常に窮屈になっており、すでに七月十六日付で全修協・山本種一理事長、関修委・海保四郎会長および関修委・伊藤守運営委員長の連名で国鉄に対し臨時列車の復活要望の陳情書が出されている。栃木県としては重大な課題であるため今後強く要求をつづける方針をかためた。

三地区協ひらく

11月14・15日、水上で

関東・東海・近畿三地区中学校修学旅行連絡協議会（海保四郎会長）の第九回協議会は十一月十四、五日の二日間、群馬県利根郡水上町のホテル水上館で開催。おもな議題は①第二回修学旅行基本調査の実施②生徒の修学旅行作文集の発行③北牧一雄氏辞任に伴う副会長の補充④そのほか、など。

安江氏が委員長に

東海三県　中学校修旅委員長総会開く

【東海支局】東海三県中学校修学旅行委員会では九月二十六日午後一時三十分から名古屋市教育館の小中学校長会で総会を開き、四十九年度の決算・事業報告と本年度役員改選、予算案を審議したあと①本年度春の修学旅行反省②来年度修学旅行の検討を重ねた。本年度の委員は次のとおり。（敬称略、順不同。★印は委員長、☆印は県委員長）

【愛知】

★☆安江康夫（稲沢市稲沢中）足立元（西春日井郡師勝中）小笠原健治（岡崎市城北中）松本辰夫（名古屋市秋山中）浅井一元（名古屋市豊正中）酒井安正（名古屋市前津中）事務局・鬼頭藤松（全修協名古屋分室長）

【岐阜】

☆近藤虎之助（海津郡日新中）村瀬誠一郎（岐阜市明郷中）事務局＝岡本穣（県小中学校長会）

【三重】

☆安川武男（津市西橋内中）落合幹（四日市市港中）山本四郎（多気郡明和中）事務局＝西山文男（県修旅委事務局長・全修協県支部長）

で目的や使命を忘れてしまっています。自覚の欠除が原因です。たいせつな子どもたちを連れていくためには先ず、その点の認識をあらたにしなくてはなりませんね。（つづく）

風紋

「今から五十年の後、日本は荒んだ味気ない国となるだろう。文化的には意味のない国になるだろう」と思ったブルーノ・タウトは、自分が見た美しい日本をかきとどめておくことを考え、著述に力を尽くしたという（雑誌「上州路」水原徳言氏）▼タウト氏は著名なドイツ建築界の巨匠、昭和八年五月に来日十一年十月に去った。その間二年半、短い期間に日本の美について数多くの発見と洞察を示した▼見る目の確かさ、考える心の深さによるものであろう。それから四十年、いま日本の美はその予言のように荒廃する国土の中で全くその生彩を失いつつある▼読売新聞（十月四日付）紙上で村松貞次郎東大教授は「東京銀行の建物とその界隈はぜひ残したい」と発言している。木曽路の馬籠や古い街並みと同じように大都市の明治の建築美とその風趣を生きた歴史として残すべきだというのだ▼日々、新陳代謝していく都市の構造の中で「古きよきもの」をいかに調和的に後世に伝えるかは、きわめて困難ながら実現すべき課題だと思う▼三重県の女の先生（中学・二十三歳）は、修学旅行における教師の意識調査によせて、「修学旅行にきめられたコースよりも、もっと現実に問題となるところを勉強にいくとよい」とのべている。この先生のいわんとするところは観光コースをぼんやりと巡りあるくのでなく、問題意識をはっきりもたせて見学観察をさせるべきだとの意見と思う。▼修学旅行の指導にあたって、生徒の心と目を生き生きとしたものにするため、まず教師自らの感覚をシャープにしたいものだと思う▼日本には美しいものが数多くある。……橋やその付近の川岸に築いた石垣を見ると、橋にもまた提防へ降りる階段にも欄干が付していない。つまり設計者は……人間の正常な理性を信頼し……実際に不必要なものと判断したのである（ブルーノ・タウト）

大自然にかこまれて

＝「高原千葉村」のことなど＝

時田米蔵

★心のふるさと

「高原千葉村」。それは、群馬県谷川連峰の山ふところにいだかれた新治村の一角、標高八〇〇㍍―九〇〇㍍の尾根に囲まれ、桑畑あり、カラマツ、ミズナラ、イヌブナ、スギ㌍さらにはススキ、ワラビ、ノアザミ、オミナエシ、ツリガネニンジンなど、林野があり、野鳥がさえずり、野ウサギがとびまわる約三〇万平方㍍の広大な自然の中にある。―利用の手引から。

千葉市が、新治村のあたたかい協力体制のもとにつくった「高原千葉村」である。中学校の林間学校、休暇の時には青少年団体や一般市民に開放、千葉市内では味わえない豊かな自然、千葉村の歴史や風土、そこでの諸活動によって、心のふるさとを培いたいというもくろみである。

★バンガロー生活も楽しいよ

現在は、管理棟とキャンプ場が開設されている。キャンプ場にはバンガロー六〇棟（四〇〇人）テントは一〇張、野外炊事場などがある。千葉市の中学校は、二年生が二泊―四泊の林間学校をここでする。わが緑町中学校も九月中旬に実施した。

青空、千葉の空と青さがちがう。

白い雲、千葉の雲と白さがちがう。

班ごとに、杉の枯葉、薪など燃やしてたいた飯のうまさ。

「マゼ飯におつゆへいれるミツバが入っていてね」という先生の笑顔。

夜、谷あい遠くにきらめく猿ケ京温泉の灯なつかし（これはおとな）

夜の見回わり。宵のうちは女教師が担当、その見回わりの人たちに「本部うるさいですよ、なかにいると気がつかないでしょうが…」と、叱られる。本部というのは、打合わせなどをするバンガロー。そこで明日の準備などしながら、雑談もはずんで賑やかにやっていた男教師たち。「やァ、ドウも、ドウも」と静かになったとたん、チロロ、チロロ、リーン、リーンと草にすだく虫の声が入ってくる。

★冬も使える宿泊施設へ

十一月一日に開所する「青少年自然の家」は、キャンプ場からさらに奥へ入った山裾、鉄筋二階建て、二段ベッド一室十人で二十二室。体育館、温泉浴場つきの立派な宿泊施設、目下、キャンプファイヤー、友との山小屋の生活、緑町中学の生徒たちも、帰る朝は惜別の気持をこめて、バンガロー周辺の清掃に力が入った。

「来たときよりも美しく」林間の小径に立っている標ぐいに書かれてある言葉。

三泊、四泊でもこの感激、三週間とか、四週間とかいった本格的な林間学校・臨海学校が、小中学生のために用意されるようになれば、日本も一人前といえよう。（千葉市立緑町中学校長）

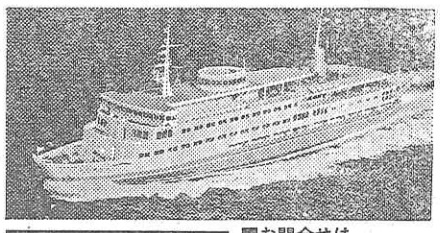
地元の案内人にリードしてもらえるハイキング、植物、鉱物、地形などの理科学習、美しい山、清流などのスケッチ、夜の着々と工事が進んでいる。これができると年間とおしての千葉村の活用となる。

バンガローとの併用もでき、とくに、冬季の宿泊によるスキー練習などは、雪のつもらない年のほうが多い千葉の子どもたちに、すばらしい贈りものである。

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



●阪神―別府航路（毎日4便）
●阪神―小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸―日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
お問合せは
大阪市北区宗是町1（06）441―4100/東京都中央区八重洲1-9-9（03）281―2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

友好訪華団の記録

全修協主催

中華人民共和国の招きによる財団法人・全国修学旅行研究協会主催、教職員の友好訪華団（団長＝全修協理事長・山本種一氏）は八月十五日から半か月にわたって中国各地を回わり、学校、工場、農村、家庭などのほか、多くの文化財を見学、現実の中国に触れた。本紙では参加者に対し率直な感想をもとめたが、いずれも「新生の息吹きに燃える中国人民の姿に感動した」と書いている。（三面にも）

徹底した産学協同

中川泰治

「熱烈歓迎」で幕があけ、「熱烈歓送」で幕が閉じ、二カ月経った今でもまだその暖かみが残っている中国の旅でした。今、中国訪問の〝特製〟アルバムが職場を巡回していますし、小さな報告会も暇をみつけて続けています。

西安第八十三中学校、保育園、上海の小学校など数多くの教育現場を見学いたしました。どこへ行っても「眼の輝き」の違いを共通して見せつけられました。忙しい忙しいと日々走り回っている日本の先生、眠そうな顔をして授業を受けている日本の子どもに慣れきった私は、極めて対照的な中国の状況に驚きさえ感じました。毛沢東思想、共産党の指導による〝産学共同〟の徹底ぶりは、上海市工人新村の保育園児が演じてくれた〝批林批孔〟の遊戯がそれを象徴しています。

東京からの帰り途、新幹線の中で、戦前、中国にいたという旧軍人と隣りあわせにすわりました。「中国人の家に招かれて酒宴の席につくと、酒の注がれた器のまわりにハエがぎっしり、とまりきれずに中に落ちるハエもいた」と感慨深げに話してくれました。今回の訪問の中で数多くの見学にいく車中から、田畑の中にある公衆便所をよく見かけました。日本では見られない風景に、中国の衛生思想の徹底ぶりをうかがい知ることができました。

〝友好親善〟で入国を許された私たちですが、通訳の人たちの態度は立派なものでした。国家公務員であり、工作員でもあると聞かされましたが、日本の国内事情に精通しておられ、逆に私たちが教えられる場面もありました。

私が日教組の組合員であると知るや「七五春闘での賃金アップ率は」「日教組明石大会は」「七四春闘の処分は」などと話しかけられました。しかし「ストライキは法律で禁止されていますね」の言葉から一歩も踏み出さない細心の留意ぶりは見事なものでした。

十五日間、酷暑の連続でした。人民公社、トラクター工場、織物工場、中国古代の歴史の遺物にふれた感激、数えきれないほどの旅でした。帰国したその夜、NHKのニュース解説で「杭州」でストライキがおこなわれ、中央の幹部がとんだ報じていました。

上海空港まで見送ってくれた通訳の人たちに「長い間ありがとうございました」と握手をした時、「友好親善」の本当の意味がわかり、眼がしらが熱くなることを禁じ得ませんでした。（滋賀県教職員組合執行委員）

歴史と文化の深さ

赤星武次郎

財団法人・全国修学旅行研究協会が主催した訪華団の一員に加えていただき、十五日間の旅行ができたことは、まことに貴重な体験でございました。周到な計画と行届いた案内を協会が用意して下さったために、旅行は無駄なく楽しいものであったことを改めて感激いたします。

さて感想ですが、印象が極めて強いものであっただけに、いろいろのことが稲妻のように頭の中を横ぎっていきますが、まだまとまった姿で捉えることができず、問われても答えられず、戸惑っているところです。

空からみる中国、汽車で通った中国、それはまず、すばらしく広い大陸だなという感じでした。もっとも地図を開いてみるとすぐわかるわけですが、ヨーロッパの約一倍近くの広さがあるので、当然広いわけですが、その実感がはじめて持てました。次には人口が多く、多種民族をかかえていることにも改めて行ってみて成程とうなづけるところでした。一口に言えば途方なく大きい国なんだな、ということでしょうか。

また、北京、西安、洛陽などで数々の遺跡をみせていただきましたが、先年、高松塚古墳が発掘されて話題になりましたけれど、出土品の数々や古建築をみると、われわれが歴史や古文書で読んだものを目のあたりにして、日本では、味わえぬ歴史と文化との深さと重さをひしひしと感じさせられました。やはり中国は世界中の上にはかりしれぬ大きな足跡をのこした国だなと思うことができました。

そして、訪れた中国の今日の姿をみるとき、そこに新しい国づくりにいそしむ中国の人々の希望に満ちた、そしてたくましい活力が生き生きとしていることが肌で感じられました。それは古い土壌に芽生えた喬木にたとえたらよいのか、まさしく中国は生れかわりつつあるといったらよいのか、とにかく自分の足で立って力強い歩みつつあるという感じでありました眠れる獅子に中国をたとえた言葉がありましたが、巨人は今や歩みを始めたという感じでした。

古来からの中国と日本との交流に思いをいたすとき、また、ふりかえって今日を見直すとき、訪華を終えて私は中国と日本はまさしく隣国であるという実感が生れてきました。アジアの二つのこの国はアジアの未来にも、また、世界の未来に大きな影響を与えるだけに私たちは誤った認識に陥らぬよう、また、あたたかい友情を培うようにつとめなければとの感を深くしました。（山形県教育委員会教育長）

再見・中華朋友

ツアイツエン・チュングワポンユウ

小関恒夫

ほんの半月ほどの短い旅でしたが、二か月もたった今でも、あの黄土のなかにくりひろげられる土と人との闘い、はてしない人間ドラマが目に浮んできます。砂ぼこりたつ並木路。はりめぐらされた用水路。地平線の向う側まで耕やされた大地。そして早朝から、おそらく夜ひるまわりつづける荷車。それを曳く陽やけの群像。それが国の生産と経済を支える土台とすれば、これほど労働と建設が直線的に結びつられ、理想的に実践されている例はとても日本では見られないに違いありませんが、いかに社会的生産関係が人間の生きがいを決定するかという格好の手本を学んだものだという感慨をもったものでした。

○

北京市のあの森に囲まれた繁茂たるたたずまいや、上海市の活気あるあの雑踏ぶりも非常に好ましい中国らしさを感じさせるのですが、あの国でもっとも典型的に中国を代表する風物は何かと問われたら私は即座に、はじめに書いた農村風景とそこで展開する自然とのたたかい、生き生きとした人々の生産労働について語ることにしています。

○

帰国後、現像してもらったフィルムからは鮮やかにそれらの風景と人（生産の舞台と労働）が再現されています。西安からバスで四時間の乾陵（唐代の則天武后と高宗の合葬墓）を見学にいった途中でも、あの則天武后の乳房をほうふつとさせる二つの山のふもとから頂きまで見事に耕されていて「耕して天に至る」の見本をみた時もその背後を貫く社会主義的生産関係と人間関係を感じたのでした。

○

しかも崖をほり、周囲の土で煉瓦をやき、またたく間に住居をつくる執念。訪華団のなかから「穴居生活」などという言葉がとび出しましたが、まさに土にしがみつき土とたたかうこの農民の執念が今日の中国を支えているのだとの念を強く抱いたのでした。

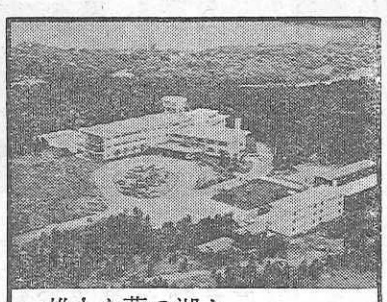
○

西安から洛陽へ、洛陽から上海への汽車の旅は、率直にいって非常に疲れましたが、軟臥車の窓に顔をすりつけて眺める風景は、見わたすかぎりの黄土と山の頂きまで耕やされた見事な労働実績でした。このことをぬきにして今日の中国はあり得ないし、日本人の中国観の基盤に是非とも据えておくべきことと思われます。

○

ともかく一衣帯水の隣国人民と子々孫々にいたるまで交流友好をふかめるには、何といっても中国を正しく知ることが最低の仕事だと思いました。中華朋友・再見。（北海道教職員組合調査部長）

トラクター工場付属幼稚園園児に迎えられる訪華団（洛陽で）



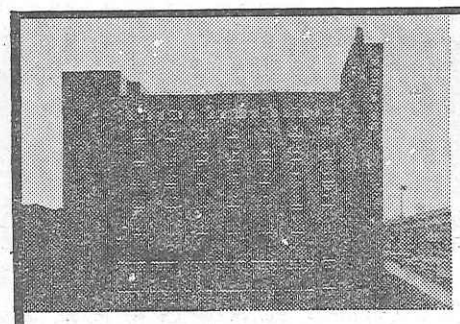
雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原

修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595(代表)

全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

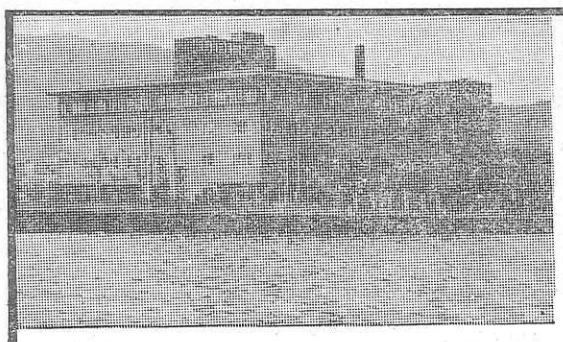
修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
（京都駅新幹線口の南西）
株式会社
教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

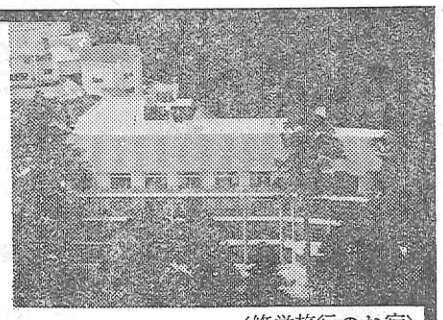
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)
東京 **コマ旅行会館**



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　**びわ湖ツーリスト・ホテル**
大津市におの浜3丁目2－25 電話　大津(0775)24－2321

霊峰比叡でお泊りを
■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ
■頭のよくなる精進料理
■夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈修学旅行のお宿〉
〈国際観光旅館〉
比叡山 **延暦寺会館：別館比叡**
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917